

# 『一生懸命』幻の新座市議会報告第263弾!

たかむらともや

## 最近読んだ本3



左の本は北大の後輩、岩井圭也さんの本。これがまた面白かったのです。僕の時代とは何十年も違うのですが、教養学部の雰囲気とかポプラ並木とか、北12条の雰囲気とか札幌のキャンパスの雰囲気が伝わってくるのです。「蛙学(あがく)への招待」という授業の話が凄く面白くて、その授業を今からでも取りたいと思いました。水産学部の学生も出て来るので一気に読んでしまいました。

右の本は僕が好きな二人の対談がベースになっている本です。日本の教育行政の歴史を学びながら、いま本当に必要なのは権威や常識を鵜呑みにしない「だまされない力」だという二人の会話は新鮮でグイグイ引き込まれていきます。

特に印象に残ったのが「伝統」に対する考え方。「伝統」というのは強いものだから、それを強制する時点で弱いということ。

「日の丸」や「君が代」を強制するのは本物の伝統ではない。例えば「万葉集」や「源氏物語」などの日本の伝統的文学は放っておいても生き残ると二人は言います。教師という職業も色んな世界を体験した人になった方がいい。なるほどな・・・と思いました。「就学猶予」「就学免除」という言葉の意味、そして「自由社会主義」という言葉の意味もべますよ。

2025年11月8日発行



10月4日(土)に彩湖リレーマラソンに参加しました。五中4期生の教え子達と一緒に5キロ走って3位入賞でした!(笑)

## たかやんのプロフィール



本名たかむらともや  
東京青山生まれ。  
新宿区立西戸山小学校、西戸山中学校  
テニス部、都立石神井高校テニス部卒。  
北海道大学庭球部

卒。中高大とテニスしかしていない。(笑)  
大学卒業後、新設の新座五中の3年の担任となる。五中で硬式テニスを教えはじめる。教え子達は僕を遥かに超えて、強くなった。五中テニス部は全国大会2位、六中テニス部は全国大会優勝、女子も関東優勝!子ども達の可能性の凄さを感じる。五中で10年、六中で10年、二中で1年担任をしながら『一生懸命』という学級通信を発行、子ども達の普段の姿を書き続ける。これはその続編かな(笑)。「どこが議会報告なんだ!」と怒られることも多い。でも、自分が書き残したいことを書きます。僕の人生はもう残り僅かなので(笑)。上の写真は五中4期生ババツとのツーショット。

たかやんの連絡先

自宅・塾

042-456-8869

携帯 090-6497-5737

takayanchan@outlook.jp

〒352-0033 新座市石神3-19-32-106

## 徴兵制

笑えないニュースが飛び込んできました。ドイツが14年ぶりに”徴兵制”を復活させるかも知れないということです。勿論、ロシアの脅威から国を守る為というのが理由のようですが・・・ドイツ国内は揺れに揺れているでしょう。

我が家にも22歳の息子がいます。カナダのUBCという大学で毎日必死に勉強しています。息子の親友イエダムは今、韓国陸軍に入隊しています。日本に生まれた空は日本国憲法によって守られ、徴兵されることはありませんが、憲法九条がない韓国の若者は徴兵されるのです。日本の男達は憲法九条によって、80年間以上徴兵されず日本経済を発展させ生きてきました。

敗戦後の焼け野原からの日本の高度成長は戦争に巻き込まれなかったから可能だったのです。その「平和憲法」を改正しようという動きが今あります。

建国以来、恒に世界の戦争の中心に居続ける国アメリカ。そのアメリカと日米地位協定を締結し、植民地状態の国日本。

アメリカの軍需産業は戦争がなければ儲からない。だから、恒に戦争が起こるように働きかける。日本の大きな企業も儲かればいいと、それに乗っかる。

そういう企業から献金をガッポリ貰う政治家たちが、国民を危険にさらしてもいいと新しい法律を作っていく。それが「安保法制」であり「武器輸出三原則の撤廃」であり、外国の為に戦争をするという「集団的自衛権」という考え方です。

僕らは戦場に送るために子ども達を育ててきたのではありません。子ども達を人殺しにする為に必死に働いてきたのではありません。子ども達もまた、人殺しになる為に必死に生きてきた訳ではないのです。

戦争にならないようにするのが僕ら大人の役目です。対立を煽って、特定の人を悪く言って、子ども達を危険な目に合わせてはいけないのです。There never was a good war or a bad peace!



## 総裁選と消費税

前評判を覆して高市早苗さんが総裁になりました。減税にちょっと期待したいが・・・

早速、韓国陸軍にいるイエダムからラインが来ました。「お父さん！日本の首相決まりましたか？」「石破さんよりいいですか」というラインでした。韓国では誰が大統領になるかで、日本に対する対応がかなり激しく変わるからだと思います。

僕は『どうだろ。韓国に対してはどうだろうね。石破より右だからなあ・・・』と返信しました。総理が変わっても、自民党の政治には大きな変化はないでしょう。勿論、選挙を意識すれば「減税」や「給付」と言った言葉が出るのですが、実際には何も変わらないような気がします。庶民の暮らしは限界だということに・・・。30年の不況にコロナ、そしてコストプッシュ型の最悪インフレで国民は苦しんでいます。それを解決するには消費税廃止が一番確かな政策です。

この9月議会でも「消費税廃止」の意見書を提出しました。共産党も「消費税を5%、インボイス廃止」の意見書を提出。

しかし、自民・公明・維新・参政党・国民民主党などの議員の反対で否決されました。

みんな本気で「社会保障の安定財源」などという言葉信じているんでしょうか。

消費税収は年々爆上がりで24.9兆と言われてますが、その内の9兆は輸出大企業への補助金。だから経団連は「消費税をもっと上げろ！」と叫んでいるんです。

「じゃあ、財源はどうするんだ！」と、よく言いますよね。ビックリするかも知れませんが、「税金は財源ではない」んです。

だから「国債を発行すればいいのです。国債は国の借金でもなんでもありません。政府の負債です。「誰かの負債は誰かの資産」。国債を発行すれば、国民の資産が増える。勿論、発行しすぎるとインフレになります。だから税金で回収する。それを誰から回収するのが問題。税金を赤字企業、赤字個人授業主からも徴収する超悪税が「消費税」「インボイス」なのです！

